

パナソニックが考える 「夜間防災・減災のあかり」

「日常から安全・安心を啓発し、災害時には
迅速かつ適切な避難を支援する照明」の実現。

都市防災の考えかたに準じて、
日常時（防災学習）、災害発生時、避難生活時の大きく3つの視点で
「夜間防災・減災のあかり」の在りかたを考える必要があります。



連続する時間軸による 災害に強い夜間照明環境の形成

留意すべきポイント

〔日常時〕
啓発「知っておく」

**記憶を継承・啓発する
街あかり**

- 避難所、避難ビルの把握
- 避難路の把握、避難所への誘導
- 光色違いによる過去の浸水区域、区域外の明示と記憶の継承

〔災害発生時〕
周知「知る」／行動「避難する」

**街あかりが灯る安心感と
避難誘導するあかり**

- 夜間停電時に必要な明るさ確保
- 避難方向の明示、迅速な誘導
- 一次避難所でのあかりと電源の確保

〔避難生活時〕
「生活環境確保」

**安全・安心の
照明環境の提供**

- 安全のあかり環境
- 安心のあかり環境
- 避難所（防災拠点）でのあかりと電源の確保

「夜間防災・減災のあかり」必要性の背景

もし夜間に東日本大震災が起こっていたら・・・

避難歩行速度は昼間の**80%**に低下^{※1}

昼間の**3倍以上**の被害が出る^{※2}

- 初期行動が遅延・・・就寝している可能性が大きい
- 避難方向や経路認識困難・・・位置情報が得られにくい
- 安全避難が困難・・・停電による暗闇の中での移動

※1 南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ第一次報告（平成24年8月公表）引用 ※2 南海トラフ地震被害想定（内閣府）引用

「夜間防災・減災のあかり」の提案例

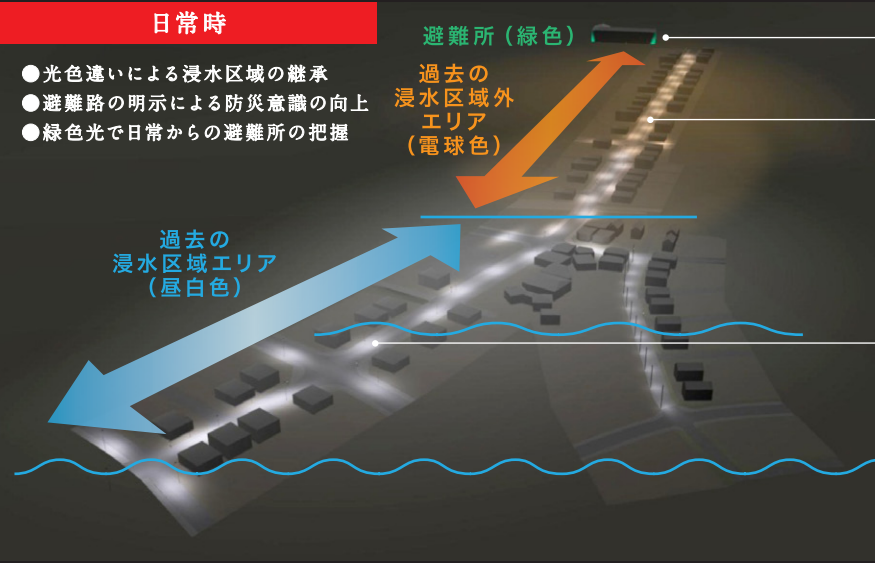
あかりを使った避難の考えかた

- 過去の浸水区域と浸水区域外の光色分けによる記憶の継承。
- 避難所に目印となる特長的なあかりを設置し、迅速な誘導を図る。
- 停電時を想定し、バッテリーで点灯できる照明や電源が確保できる器具を設置。

■ あかりを使った避難誘導の例

日常時

- 光色違いによる浸水区域の継承
- 避難路の明示による防災意識の向上
- 緑色光で日常からの避難所の把握



過去の浸水区域エリア (昼白色)

避難所 (緑色)

過去の浸水区域外エリア (電球色)

ライトポール
緑色

- 特長的な光色と形で日常からの避難所の把握

LED道路照明器具
電球色 3000K

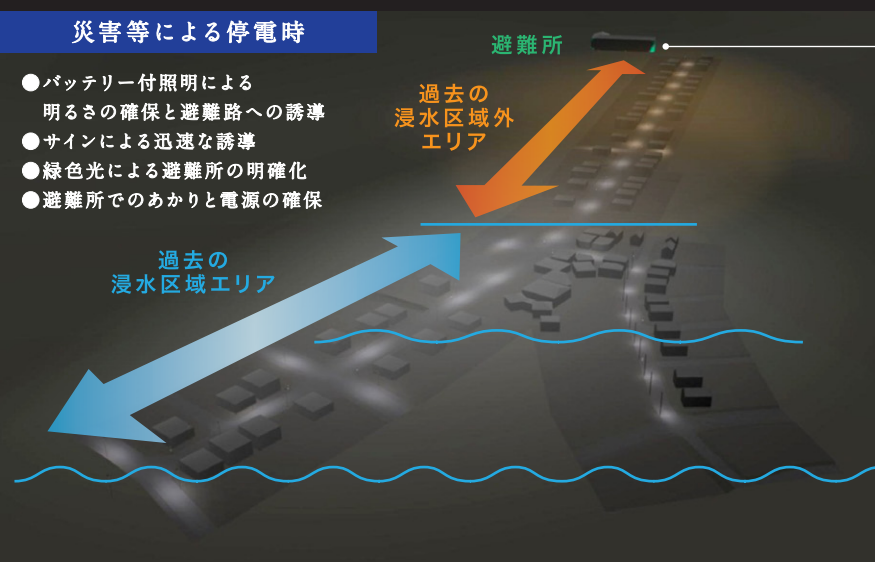
- 電球色で過去の浸水区域外の明示
- 日常生活に必要な明るさの確保
- お年寄りに配慮した優しいあかり

LED道路照明器具
昼白色 5000K

- 昼白色で過去の浸水区域の明示
- 日常生活に必要な明るさの確保

災害等による停電時

- バッテリー付照明による明るさの確保と避難路への誘導
- サインによる迅速な誘導
- 緑色光による避難所の明確化
- 避難所でのあかりと電源の確保



過去の浸水区域エリア

避難所

過去の浸水区域外エリア


ライトポール
緑色

- 特長的な光色と形で避難所の明確化

ソーラー街路灯【非常電源機能付】

- バッテリー機能で停電時でも点灯
- 携帯電話等の充電
- ラジオ、マイク等の使用


AC100Vコンセント




LED高天井用照明器具

- LEDだから必要な時にすぐに点灯
- 明るさの調節が可能
- 拡散パネル付下面ガードで光源のまぶしさを制御


拡散パネル付下面ガード (オプション)





バッテリー付 LED保安灯

- バッテリー機能で停電時でも点灯



ソーラーサイン照明

- バッテリー機能で停電時でも点灯
- 避難所に誘導

※商品仕様については企画検討中のため仕様、外観などは変更になる場合があります。

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 マーケティング本部 都市環境商品営業企画部

〒105-8301 東京都港区東新橋1丁目5番1号 ☎(03)6218-1131(代表)

© Panasonic Corporation 2014 本書からの無断の複製はかたくお断りします。

このチラシの記載内容は2014年11月現在のものです。

LLCT1E649N 201411-8YY